

平成 21 年度第 3 回サイバー・キャンパス・コンソーシアム

電気通信工学グループ運営委員会議事概要

I. 日時： 平成 21 年 9 月 26 日（土） 15：00～18：00

II. 場所： 甲南大学知能情報学部 107 会議室

III. 出席者：玉野委員、岳委員、越後委員

井端事務局長、森下様

IV. 配布資料：

平成 21 年第 2 回電気通信グループ運営委員会議事録

V. 議事概要

コアカリキュラムなどの検討

早速コアカリキュラムについて、委員案に基づき検討を行った。

作業は、4 条の各コアカリキュラムの検討を行い、関連して 4 条そのものに適宜修正を加えた。

修正の主な点は、コアカリキュラムを、科目名（キーワード）を連記した形式とし、**コアカリキュラムのイメージ**とした。

すでに公表した到達目標の 4 条は、「問題解決」、「技術の活用」など、要求が高すぎる事から、それぞれ「問題発見」、「主体的に問題発見」などに変更した。

第 1 条の**コアカリキュラムのイメージ**には、第 3 条の環境、エネルギー、安心安全の配慮などを考慮し、電気化学、電力・エネルギーなどを追加した。情報理論に代わって信号処理を記入した。

第 2 条の**コアカリキュラムのイメージ**では、基礎技能に関連する事から、設計・制作まで一連の流れのなかで判るよう配置した。

第 3 条では、自然環境、社会環境、安全安心に関連し、**コアカリキュラムのイメージ**を選定した。

電気通信工学の重要性の認識は、工学倫理に含まれるとした。

第 4 条は、行動力（社会人基礎力）に関連させ、本文を修正し、課題演習、インターンシップ、卒業研究などを**コアカリキュラムのイメージ**とした。

次に、到達度と測定方法の検討に入り、第 1 条と第 2 条について修正を行った。修正結果は、添付資料のとおり。

なお、第 3 条、第 4 条の到達度と測定方法については宿題とし、次回までに詰めを行い、さらに全体を見通した後、インターネット上に載せ、関係者の意見を吸い上げる予定である。

次回は、10 月 24 日（土） 17：00～19：00 私情協事務局にて開催する事とした。

